

取組紹介

## 2 経営陣と全従業員がワンチームで経営指針を作成。従業員の主体性や帰属意識が向上

### 取組内容

- 「冒険の書」と呼ばれる経営指針書は、経営に関する基本方針や前期の振り返り、今期の計画や目標などを全社員で共有・作成するものです。経営層と社員が一体となって会社の方向性を定め、社員一人一人が経営視点を持ち、主体的に働く意識を育む仕組みとして機能しています。
- 「冒険の書」としたのは、経営というのはまさに冒険だと思ったことと、楽しそうな感じにしたいという思いがあり、表紙のデザインにもこだわりました。
- 社員が担当したいページを立候補制で決め、それぞれ責任を持って内容を作成します。その後、全員で内容を確認・議論しながら仕上げることで、会社全体の理解と一体感を深めています。
- 「アクションプラン」と呼ばれる年間目標や経営理念に基づいた目標をもとに、社員が主体的に経営や会社づくりに関わっています。具体的には、「事業展開チーム」、「働きがいのある企業づくりチーム」、「企業の社会的責任チーム」の3チームに分かれ、それぞれ目標を達成するための行動計画を立て、実行しています。これにより、社員一人一人が会社の成長や事業推進に積極的に貢献しています。

### 取組による効果

- 定期的に目標の進捗状況を確認することで、社員が主体的に働く意識をもつ良い機会となり、帰属意識の向上にもつながっています。
- 「冒険の書」は、これ1冊あれば会社のことは全て分かる、というようなものを目指し、社員からのフィードバックも受け、年々充実していき、社員みんなが愛着を持っています。
- 社員の誕生日にプレゼントを贈るプライムバースデーという制度があるのですが、プレゼントを選ぶ際に「冒険の書」の社員紹介ページが参考になるなど、社員同士の温かな関係構築にも役に立っています。



取組紹介

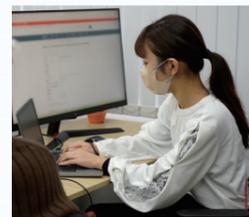
## 3 自分で選べるオフィス家具レンタルサービス。在宅勤務のモチベーション・集中力アップ

### 取組内容

- 当初は、毎月定額の在宅勤務手当を支給しており、外付けディスプレイ等の情報機器については、会社で購入して社員の自宅用に貸与をしていました。しかし、家具類については、住宅環境もあるので社員任せになっていました。社員が増えるに伴い、定額手当方式だと、社歴の長さが影響し公平性を保つことが難しくなると感じていたところ、レンタルサービスの存在を知り、導入しました。
- オフィス家具のレンタルサービスでは、自身が持っているポイント内で好きな備品を自身のタイミングでレンタルすることができます。この制度を利用することで、自宅内に出社時と変わらない作業環境が作れるため、自宅と職場で作業効率が平準化されました。
- リモートワーク用の家具だけでなく、モニター、マウス、キーボード、ケーブルなどの備品、冬用のパネルヒーターや加湿器も借りることができます。レンタル一覧に借りたい家具や備品がない場合は、リクエストも可能です。返却もすぐできるため、試してみて自分に合った作業環境を作ることができるため、使用して良かった家具や備品の情報を社員同士で共有しています。

### 取組による効果

- 自宅でのリモートワークの環境が整っていない社員でも、自分に合う椅子やモニターをオフィス家具レンタルサービスで揃えることができ、環境が改善されました。その結果、集中力が高まり、業務効率や生産性の向上につながっています。
- サービスの満足度や生産性向上を実感している社員が多くなります。このような取組を行ったことで、「ハピネスサーベイ」と呼ばれる、社員の幸福度調査でも高いスコアとなっています。



## 株式会社プライム・ナンバーズ

フルリモートでも一体感！  
従業員の創意工夫で育む「つながり」



# 株式会社プライム・ナンバーズ



フルリモートでも一体感!  
従業員の創意工夫で育む「つながり」

## 会社概要

代表者名: 代表取締役 五十嵐 美帆  
創立(創業): 2017年  
所在地: 東京都千代田区神田司町2-14 大鷹ビル402  
TEL: 03-6260-7014  
従業員数: 8名(うち正社員8名)  
URL: <https://www.prime-numbers.co.jp/>  
業種: 情報通信業  
事業内容: 情報処理サービス



### 評価ポイント1

毎日の朝会、月1回リアル交流会などで、リモートワーク下のコミュニケーションを改善

### 評価ポイント2

経営陣と全従業員がワンチームで経営指針を作成。従業員の主体性や帰属意識が向上

### 評価ポイント3

自分で選べるオフィス家具レンタルサービス。在宅勤務のモチベーション・集中力アップ

## 目的・理念

### 価値あるIT活用で、人と社会の前進を支える

ITの進化が加速する一方で、その技術を「どう活かせば良いかわからない」と感じるお客様も少なくありません。学術コンテンツや公共分野で培った経験をもとに、丁寧なデータ処理と確かなシステム構築で、お客様が安心して前に進める道をつくります。プライム・ナンバーズが目指す「道をつくる会社」とは、業務プロセスの流れを整え、目的に向かって迷わず進める仕組みをつくる存在であるという意味です。私たちは価値あるIT活用を通じて、人と社会の前進を支えていきます。

## 経営者からのメッセージ



代表取締役 五十嵐 美帆

私が2017年にプライム・ナンバーズを創業して以来、一貫して大切にしてきたのは、高い品質ときめ細かな対応を通じてお客様に寄り添うことです。社名の「プライム・ナンバーズ」は素数を意味し、簡単には割り切れない存在であり続けたい、妥協のないサービスを提供したいという、私たちの意思を表しています。当社の情報処理サービスの根幹は「人」です。指示通りに業務をこなすだけではなく、顧客の期待を上回る成果を生み出すためには、社員一人ひとりが能力を十分に発揮できる環境が欠かせません。仕事だけでなく社員の生活や人生そのものを支えることが企業の責任だと考えています。社員の幸福と会社の成長は相反するものではなく、会社が人生を支え、社員が成果で応える—その好循環を実現する企業でありたいと考えています。

## 取組の経緯・背景

代表自身、創業時より、自分なりの理想的な働き方ができる会社をしたい、という想いがあり、ライフスタイルの変化に柔軟に対応できるよう、リモートワークを前提とした会社作りを進めてきました。本格的に制度等を整え始めたのは、5年前に経営指針書の作成を始めたこと、それに伴って若手社員が入社したことがきっかけです。社員の幸福を大切にする姿勢を継続的に発信し、仕事だけでなく私生活も含め相互理解・相互応援の風土を育てています。また、「ワーク」の充実も社員一人一人の人生をより良くするものと考えています。変化の激しい世の中にあっても、社員には、自分の人生を切り開いていけるだけの力を身につけてほしい、と考えているため、その支援もしていきたいと思っています。



## 従業員の声



- リモートワークが主な会社だからこそ、コミュニケーションをととても大切にしており、メタバース空間の活用など、時流に合わせて様々な手法にチャレンジしているので、自分自身の業務の勉強にも役立っています。
- 人前に立つことが苦手なのですが、隔週ミーティングの司会、経営指針発表会など、人前に立つ機会が増え、以前よりも苦手意識が薄くなりました。
- 経営指針発表会では、各々が作成したページを発表するため、1年を通して会社全体でどれくらいの案件に取り組んだのか、昨年と比べてどうだったか、社員全員が知ることができます。自分の行動一つひとつが会社に影響を与えているんだ、自分も会社の一員なんだという意識が強まったと感じています。
- リモートワークでは、どうしても座りっぱなしになってしまうので、運動不足解消のため、家具レンタルサービスでランボリンを借りてみました。どれを買おうか休日を探し回っていた時間も、今は気軽にレンタルサービスのサイトから選ぶことが出来るため、自分の時間が増えました。

## 取組紹介

### 1 毎日の朝会、月1回リアル交流会などで、リモートワーク下のコミュニケーションを改善

#### 取組内容

- リモートワーク下では、コミュニケーション方法が課題でした。顔が見えないリモートワークでは、話しかけにくいという問題を解消するため、毎朝リモートで朝会を実施しています。さらに、「プライム・フライデー」と称して、月に1回、社員がオフィスに集まり、その月のテーマに沿って自由に意見交換を行う機会を設けています。
- 「プライム・フライデー」では、「全員が発言すること」を大切にしており、短時間で全員が順番に意見を述べる、名付けて「ぐるぐる会議」を取り入れています。これにより、参加者全員で意見交換ができるようになりました。
- 朝会では、隔週で「20秒チャレンジ」と「マンダラチャート」を実施しています。「20秒チャレンジ」では、「最近買ってよかったもの」など、身近なテーマで20秒以内に発表します。リモート環境でも雑談しやすくなり、社内の雰囲気が柔らかくなりました。「マンダラチャート」では、目標を達成するための施策を整理し、具体的な行動目標を立てるための表を活用することで、個々の目標や取組を共有し、お互いの挑戦を応援する文化を育てています。

#### 取組による効果

- 社員同士の「つながり」が生まれ、リモートワークでも問題なくコミュニケーションが取れるようになりました。
- 毎日の朝会で各自の作業予定を伝えるため、業務で手伝ってほしいと思った時に、伝え合える環境が整っています。また、週次でチーム定例、月次で上司面談もあるため、社員間で話す機会が多く、相談しやすい風通しの良い雰囲気となりました。

